

英文論文誌 D では、平成 29 年度 9 月号より画像符号化・映像メディア処理に関する小特集を企画しています。本年も論文及びレターの両方を募集する形で画像符号化・映像メディア処理小特集を 2020 年 10 月号に企画致しました。

近年の画像符号化の分野では、2018 年に次世代動画画像符号化方式 VVC の標準化がスタートして、2020 年に国際標準となる予定です。そして標準化の中では、深層学習などの新たな符号化予測ツールを取り入れた方式も提案されており、既存の動画画像符号化方式を超える新たな技術の登場が待ち望まれています。更に将来においては、地上波における 4K・8K 放送が検討されていることもあり、更なる符号化効率の改善が期待されています。

映像メディア処理の分野では、深層学習などを用いた映像処理の研究が盛んに行われています。そして 4K・8K 高精細映像や HDR 映像などの 2 次元映像のほか、3 次元映像や 360 度映像などへの利用も注目されています。ほかにも、顔認識や行動解析技術などの映像分析技術がセキュリティ分野や広告分野などにおいて益々重要度を上げており、物体認識技術や空間把握技術などが交通事故の減少や自動運転の実現に向けて活発に研究開発されています。

本小特集ではこのような画像符号化・映像メディア処理に関連する分野の論文及びレターについて、広く募集致します。PCSJ2019/IMPS2019 などで発表された研究、着想段階の研究アイデアも含めて、多くの方からの積極的な御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

■画像符号化分野

符号化基礎、標準方式関連技術、動き推定／動き補償、予測／直交変換／フィルタ、量子化／エントロピー符号化、領域分割／特徴抽出、3D 画像符号化、符号化制御／符号量制御、配信（固定網・モバイル網）対応／実装技術、画質評価、新しい符号化、その他。

■映像メディア処理分野

映像処理基礎、色彩／分光／色空間、画像認識／解析、画像復元／超解像／高精細（4K/8K）画像、3D 画像技術／処理、撮像処理／表示処理、映像生成、HCI/拡張現実／人工現実、電子透かし／情報付加、映像処理応用／実装技術、その他。

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-PC] 画像符号化・映像メディア処理を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます。

4. 各種締切

投稿締切： 2020 年 1 月 5 日（日） 23：59 厳守

第 1 回判定通知：2020 年 2 月 26 日（水）を予定

最終判定通知： 2020 年 5 月 28 日（木）を予定

特集発行： 2020 年 10 月 1 日（木）

5. 問合せ先

河村 圭 KDDI 総合研究所

TEL [080] 5066-9075

E-mail : ie-special [at] mail.ieice.org

[at] は @ に読み替えて下さい（スパムメール対策）

6. 小特集編集委員会（和文誌・英文誌で共通）

委員長 藤井俊彰（名大）

幹事 河村 圭（KDDI 総合研究所）、久保田 彰（中大）、高橋桂太（名大）、松尾康孝（NHK）

委員 稲積泰宏（山梨英和大），岩村俊輔（NHK），金井謙治（早大），亀田裕介（東京理科大），黒木祥光（久留米高専），篠田一馬（宇都宮大），杉本憲治郎（早大），中條 健（シャープ），坂東幸浩（NTT），福嶋慶繁（名工大），松岡 諒（香川大），峯澤 彰（三菱電機），村崎和彦（NTT）

7. 付記

※締切日を厳守して下さい。

※すべての著者は，論文が採録となった場合，2020年6月頃に掲載料をお支払い頂くことになります。2020年7月15日までに支払いが完了しない場合には，採録取り消しとなります。

※投稿に際しては，著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<https://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

※オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dのすべての論文を，J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開しています。2020年1月号以降に掲載される論文には，電子情報通信学会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります。（オープン化は，2020年1月以降も継続する予定です。）オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は，“Information for Authors”（https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html）を御参照下さい。オープン化とオープンアクセスオプションに関しては，予告なく変更されることがあります。